

のり養殖通報 第10報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議 令和元年12月25日発行

[気象・海況]

- 水温 10カ年平均より約2°C高い状況です(図1)。11月下旬から現在まで多少の上下変動はありますが、16°C前後で停滞しています。12/18には沖合水の波及で約2°Cの急上昇がありました。
- 栄養塩 全漁場でノリの生育及び色調保持に必要な量が含まれています(表1)。
- 沖合水 12/18に沖合水の漁場への波及がありました。黒潮は房総半島に接岸しており、今後も動向に注意が必要です。
- 気象 年明けからようやく寒気が南下し、平年に近い気温となりますが、引き続き、降水量は多いと予報されており、日照不足が懸念されます。

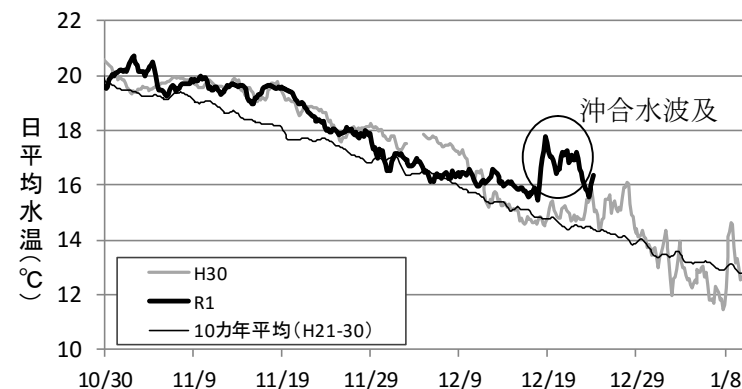


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

表1 栄養塩(12/24 観測結果) $\mu\text{g/L}$

	窒素	リン
船橋	600	45
木更津(BC)	434	30
富津ベタ	367	26
1海ほ下	203	15
下洲沖	180	12

[今後の留意点]

- 千葉北部の支柱柵ではこれまでカモの食圧が強い状況が確認されていましたが、ここに来てカモの食圧が低下(赤外線カメラで出現回数が激減)しています。支柱柵漁場も有効に活用し、生産してください。
- 木更津地区では比較的順調な生産が継続しています。安定生産には、まだ水温が高い状況ですので、引き続き、あかぐされ病や短縮化の対策を講じて下さい。
- 富津地区の疑似しろぐされ症は終息しました。現在、短縮化が強く出ている場所がありますので、防御ネットとノリ網の隙間を狭めるなど対策を強化してください。
- 富津地区で出現した白い水は、白いヌタが浮遊している状態でした。12/20に速報したとおり葉体にタビュラリアが付着していると白いヌタがノリに付着しやすい状態になります。ノリへの影響を室内培養で確認したところ、ノリの生長や弾力性に影響は確認されませんでした。